

2022 年度ジェンダーフォーラム映画上映会

映画

『タンズアンタイト』

上映会+トークセッション

今年度の映画上映会では、マーロン・リグス (Marlon Riggs) 監督のドキュメンタリー映画『タンズアンタイト』(1989) の上映と、上映団体であるノーマルスクリーンおよび翻訳出版集団ポリティカル・フィーリングス・コレクティブによる解題セッションを開催します。リグスはアフリカ系アメリカ人ゲイ男性として、米国社会で幾重もの差別や無理解に晒されてきた同社会集団に属する人の経験や自己認識を、彼らを取り巻く複雑な歴史ならびに社会的状況とともに映像化してきました。

本作のタイトル「タンズアンタイト」(tongues untied) とは、「ほどかれた舌」つまり「沈黙から解き放たれた言葉」を意味します。人種や性を標的にした偏見の問題、複雑に交差する権力や暴力のただなかで表現される「マイノリティ」と呼ばれる人の自己認識、さらにはそうした厳しい社会環境において、より一層ゆたかに実践される文学やダンスを繊細に描出するのが、この「革命的」と称されてきた作品です。「人間の尊厳とは何か」という永劫の問いを、黒人ゲイカルチャーをとおして探る現代ノンフィクション映画の傑作として本作品を鑑賞し、その意義を討議します。



Image courtesy of Signifyin' Works

2022. 11. 13. sun. 14:00 - 16:00

立教大学池袋キャンパス
タッカーホール

※マスクご着用の上でお越し下さい
ご体調の優れない方はご参加をお控えください

参加無料

要申し込み



<http://s.rikkyo.ac.jp/ec76d4e>
定員：200名 締切：11月9日

講師：

Political Feelings Collective

Normal Screen

「政治的感情の探求」を理念として掲げ、ブラックフェミニズム / 黒人女性文学を中心にリサーチ・翻訳をおこなうコレクティブ。2020年初め、『タンズアンタイト』の字幕制作に関わったメンバーの一部が、映画の中で引用された黒人でレスビアン・フェミニストの詩人、オードリ・ロードに関心を持ち、同じくロードに関心を寄せる新しいメンバーを迎え、読書会を開始。2021年、花伝社よりオードリ・ロード著作集とコンパヒーリバー・コレクティブ関連書籍を出版する企画が立ち上がり、同読書会が現在のコレクティブとしての体制をとる。同年秋よりクラウドファンディングを実施しつつ、2冊の書籍の発行を目指している。

(登壇者：大重祐紀氏、西山敦子氏、福島淳氏)

場所を持たず2015年より東京を拠点に映画 / 映像を上映 / 配信するシリーズで、主にセクシュアル・マイノリティの視点や経験に焦点をおく。過去の上映作品として、音楽家アーサー・ラッセルのドキュメンタリー (日本初公開)、アメリカの HIV/AIDS に関する実験映像、台湾の女性作家特集、韓国やベトナムのドキュメンタリーなど、日本で観る機会の少ない作品多数。国内外のアーティストやキュレーターをプログラマーとして招待し、作家と交流できる場づくりも行う。

(登壇者：秋田祥氏)

主催・お問い合わせ 立教大学ジェンダーフォーラム

TEL/FAX : 03-3985-2307 E-mail : gender@rikkyo.ac.jp

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/>

